

将来人口推計 (生駒市人口ビジョンより)

2017 (平成 29) 年 10 月 1 日現在 : 120,636 人 49,863 世帯

生駒市は、2015 (平成 27) 年 10 月 1 日現在で、市全体人口 121,048 人、49,058 世帯となっており、2013 (平成 25) 年の 121,331 人をピークに人口の横ばいが続いています。

生駒市はこれまで、自然増、社会増と両方が増加することで大きく人口が増加してきました。自然動態では、出生数が死亡数を上回り、「自然増」を続けてきたものの、近年は出生数が横ばいとなっている一方で死亡数が増加し、出生数と死亡数の差が小さくなり、増加傾向が鈍化している状況にあります。一方、社会動態では、転入が転出を上回り、「社会増」を続けてきたものの、近年は転入と転出の差が小さくなり、増加傾向が鈍化しています。

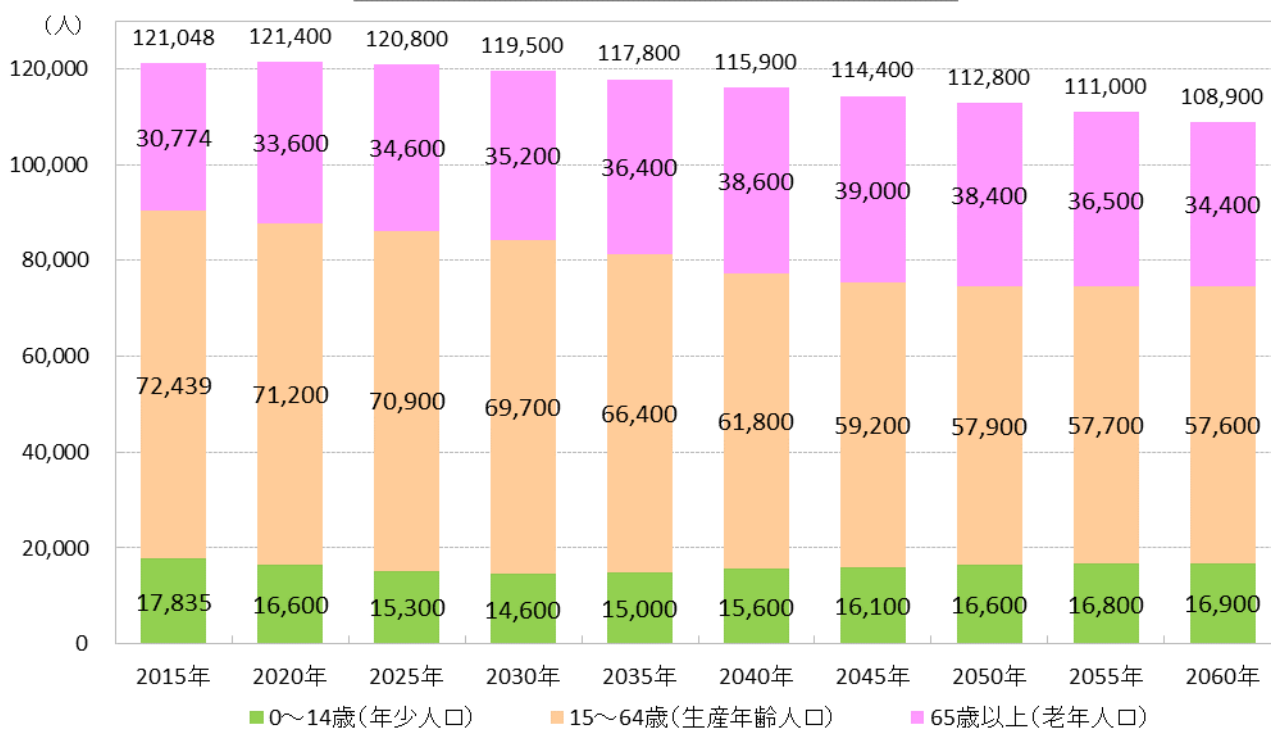
国立社会保障・人口問題研究所による出生率と移動率を用いた推計では長期的には将来人口は減少し、2060 年には 10 万人を下回る見通しとなっています。そこで、2015 年度に策定しました「生駒市人口ビジョン」において、本市の社会動態の特性や直近の年齢別人口、国の人口ビジョンを踏まえた出生率を用いて独自に仮定値を設定し、本市の将来人口がどのように変化するかを独自に推計しました。

その結果、現在の転入超過となっている移動率を維持しつつ、出生率が 2060 年には人口置換水準 (2.07) まで上昇すると仮定して推計したところ、独自推計による将来推計人口では、2020 年の約 12 万 1,000 人をピークに本格的に人口減少に転じ、その後一貫して減少を続けるものの、2060 年においても 11 万人程度 (約 10 万 8,900 人) を維持する見通しとなります。

また、年齢別人口構成では、年少人口比率は 2030 年に 12.2% まで減少するものの、出生率の向上により 2060 年には 15.5% まで増加します。一方、高齢人口比率は 2045 年の 34.1% まで一貫して増加するものの、その後 2060 年には 31.6% まで減少すると推計しており、約 30 年先には、少子高齢化に一定の歯止めがかかると見込んでいます。



生駒市人口ビジョンによる人口推計(年齢別人口)



生駒市人口ビジョンによる人口推計(年齢別人口構成)

